

# 第5学年 道徳科（人権）学習指導案

## 1 主題 生き方から学ぶ

### 2 主題設定の理由（省略）

### 3 ねらい

すべての人々が幸せに生きるために互いの人権が守られなければならないことを理解するとともに、人権が守られる社会にするために自分にできることを考え、行動しようとする態度を育てる。

### 4 指導計画（全13時間）

過程	主題に関する人権学習	関連する各教科の学習や行事
体験	自分たちの生活の中において、偏見や不合理な差別が人権侵害につながっていることを理解する。 ○道徳科「不合理なしきたり」（ひかり）····· 2時間 ○道徳科「水俣から」（ひかり）····· 1時間 ○道徳科「一人一人の大切な人権」（ゲストティーチャー）····· 1時間	○道徳科「短所も長所」
話し合い	偏見をもったり、不合理な差別をしたりする人間の愚かさ、差別されながらも周囲の人のことを考えて正しく判断し行動する人々の姿に共感するとともに、自分に何ができるかを考え、正しく判断し、行動していこうとする態度を身に付ける。 ○道徳科「山の粥」（ひかり）····· 3時間（本時3／3） 自分の身近なところにも偏見や差別があることに気付き、行動しようとする意欲を高める。 ○道徳科「光輝の告白」（光文書院）····· 1時間	○学級活動「ちがうことばんざい」（ひかり） ○行事 ・宿泊学習 ・運動会 ・校外学習
振り返り	自分の生活と重ね合わせ、自分ができることを考え、行動しようとする態度を育てる。 ○総合的な学習の時間「避難所で自分たちにできること」····· 2時間 ○総合的な学習の時間「避難所で自分たちにできること」（ゲストティーチャー）····· 1時間	○総合的な学習の時間 「つながろう人・命」 ・災害時における人権問題について考える。 ・被災後の避難所での生活や、誰もが安心して生活するために、自分に何ができるか考える。
一般化	自分や周りの人たちの人権を守るために、自分にできることを考え実践していく。 ○総合的な学習の時間「避難所案内カードをつくろう」····· 5時間	
適用		

### 5 本時の学習

- （1）目標 偏見や差別の中にあっても人間として公正に判断し、行動しようとする誇りある生き方に共感させ、自他の人権を大切にするために自ら考え行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C- (13) 公正、公平、社会正義
-------------	--------------------

- （2）普遍的な学習のテーマ 人権の尊重

個別人权課題名 同和問題

- （3）展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○前時での、殿様・農民・村の人の関係について常設掲示を使い確認できるようにする。  藤べえじいさんや村の人が、農民に「山の粥」をふるまったくのはなぜだろう。
2 差別されながらも、農民に「山の粥」をふるまったくの人の心情について話し合う。	○自分が村の人の立場なら、「山の粥」をふるまうことができるか話し合うことを通じて、自分事として捉えさせる。②
3 「山の粥」をふるまったくの藤べえじいさんや村の人の生き方を考える。	○話し合ったことを共有することで、公正に判断し、行動した村の人の生き方が、自他の人権を大切にする行動であることに気付かせる。
4 本時の学習を振り返り、これから的生活について考える。	○自分にできることを考え、実践していこうとする意欲を高めさせる。①

- （4）評価

- 自他の人権を大切にするために、人間として公正に判断し、行動しようとする意欲を高めることができたか。  
(価値的・態度的側面) ①
- 友達の意見をよく聞き、自分の考えを相手に分かるように表現することができたか。  
(技能的側面) ②